

財務部 経理課

2011年度予算は、今出川整備事業に多額の資金を要することから、支出内容の見直しまたは効率化により経費抑制を徹底するとともに、既存の施設設備の整備は特に緊急性の高い事業を優先的に計上し、限られた財源を効率的に配分することを大原則に編成しています。

■2011年度収支予算書 (表1)

2011年4月1日から2012年3月31日まで

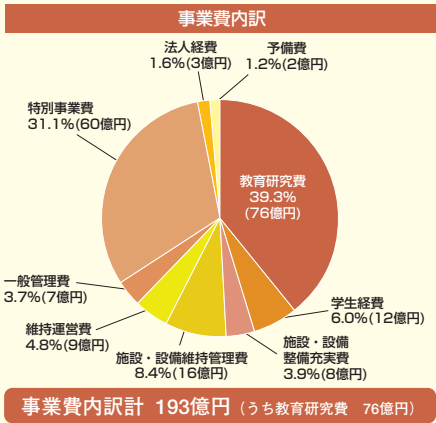
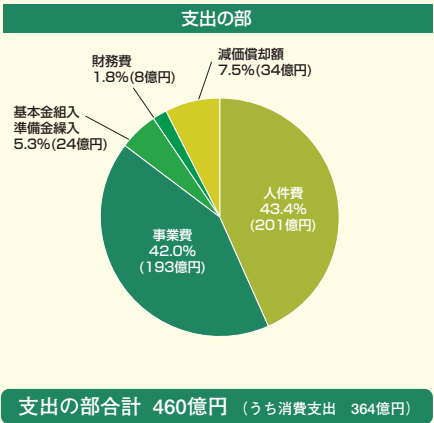
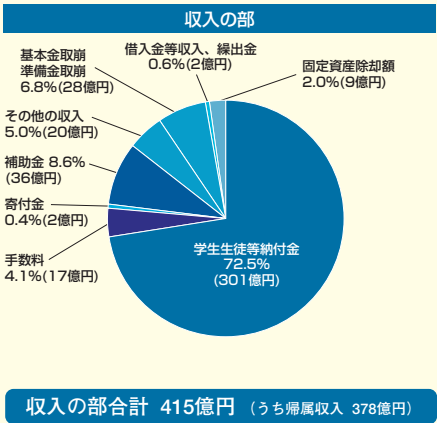
(単位：千円)

収 入 の 部				
科 目	予 算	前年度予算	増 減	主 な 内 訳 ま た は 増 減 理 由
学 生 生 徒 等 納 付 金	30,077,360	30,145,000	△67,640	在籍学生数の減少見込みによる減収等
手 数 料	1,699,750	1,681,300	18,450	入学検定料等
寄 付 金	171,920	295,990	△ 124,070	寄付教育研究プロジェクト研究活動あて寄付金等、収納が確実なもののみ計上
補 助 金	3,576,700	3,881,330	△ 304,630	経常費補助金、大学改革推進等補助金等、収納が確実なもののみ計上
資 産 運 用 収 入	627,540	869,340	△ 241,800	
資 産 売 却 差 額	0	384,620	△ 384,620	
事 業 収 入	355,400	585,400	△ 230,000	企業からの研究受託に係る受託事業収入等、収納が確実なもののみ計上
雑 収 入	880,530	720,000	160,530	退職金財団交付金収入等、収納が確実なもののみ計上
繰 出 金	240,180	393,890	△ 153,710	法人内諸学校からの資金調達額の返済額等
分 担 金	157,700	123,710	33,990	法人内諸学校からの法人業務に係る分担金
帰 属 収 入 合 計	(37,787,080)	(39,080,580)	(△ 1,293,500)	
第2号基本金取崩額	2,760,000	3,520,000	△ 760,000	大学今出川校地整備資金等の取崩額
当期固定資産除却額	844,540	1,919,920	△ 1,075,380	2001年度取得固定資産の一括除却等
借 入 金 等 収 入	0	0	0	
当 期 末 未 払 金	0	125,460	△ 125,460	
基本金通年度組入額、未組入額計	(3,604,540)	(5,565,380)	(△ 1,960,840)	
特定支出準備金取崩額	69,600	600,510	△ 530,910	国際連携推進事業に係る準備金の取崩額等
収 入 の 部 合 計	[41,461,220]	[45,246,470]	[△ 3,785,250]	

支 出 の 部				
科 目	予 算	前年度予算	増 減	主 な 内 訳 ま た は 増 減 理 由
人 件 費	20,049,570	19,376,380	673,190	教員増員、定期昇給の必要額
教 育 研 究 経 費	13,906,400	14,747,850	△ 841,450	主な新規事業参照
消 耗 品 費 他	10,614,140	11,463,170	△ 849,030	
減 価 償 却 額	3,292,260	3,284,680	7,580	
管 理 経 費	1,524,260	1,588,930	△ 64,670	主な新規事業参照
消 耗 品 費 他	1,378,570	1,440,980	△ 62,410	
減 価 償 却 額	145,690	147,950	△ 2,260	
借 入 金 等 利 息	15,610	19,720	△ 4,110	借入金残高の減少
資 産 処 分 差 額	3,600	271,510	△ 267,910	
徴収不能引当金繰入額	77,810	138,420	△ 60,610	
繰 入 金	533,080	900,000	△ 366,920	法人内諸学校への資金調達等
予 備 費	240,000	115,000	125,000	経理規程(経常勘定における帰属収入の7/1000以上を計上)に基づく
消 費 支 出 合 計	(36,350,330)	(37,157,810)	(△ 807,480)	
施設関係支出	5,690,890	7,009,720	△ 1,318,830	主な新規事業参照
設備関係支出	1,368,370	2,076,990	△ 708,620	主な新規事業参照
借入金等返済支出	206,080	206,080	0	
前 期 末 未 払 金	43,290	100,360	△ 57,070	
第2号基本金組入額	2,000,000	2,000,000	0	
第3号基本金組入額	0	0	0	
第4号基本金組入額	164,500	119,800	44,700	学校法人会計基準に定める「恒常的に保持すべき資金の額」との差額を組入
基本金要組入額、当年度組入額計	(9,473,130)	(11,512,950)	(△ 2,039,820)	
特定支出準備金繰入額	210,910	352,830	△ 141,920	
支 出 の 部 合 計	[46,034,370]	[49,023,590]	[△ 2,989,220]	

収 支 差 額 の 部			
科 目	予 算	前年度予算	増 減
当 年 度 消 費 収 支 差 額	(△ 4,573,150)	(△ 3,777,120)	—
消費支出準備金繰入額	0	0	—
消費支出準備金取崩額	2,046,050	3,110,100	—
繰入取崩後消費収支差額	(△ 2,527,100)	(△ 667,020)	—
前年度繰越消費収支差額	[△ 30,687,810]	[△ 30,020,790]	—
翌年度繰越消費収支差額	[△ 33,214,910]	[△ 30,687,810]	—

■収支構成図



■事業別予算書 (表2)

(単位：千円)

事業別予算総括表	
事業項目	予 算
人 件 費	(20,049,570)
事 業 費	(19,291,970)
基本金・準備金	(2,418,700)
財 務 費	(836,180)
減 価 償 却 額	(3,437,950)
支 出 の 部 合 計	[46,034,370]

事業項目	内 予 算
教 育 研 究 費	(7,576,270)
研 究 費	1,997,360
研 究 所 経 費	111,820
実 験 実 習 費	757,260
教 育 研 究 援 助 費	1,152,720
情報処理教育研究費	840,140
学術情報整備充実費	521,050
国際交流関係費	756,640
入 学 試 験 経 費	685,120
教 学 事 務 運 営 費	754,160
学 生 経 費	(1,152,270)
奨 学 援 助 費	501,700
学 生 生 活 助 育 費	546,830
学 寮 費	103,740
施設・設備整備充実費	(760,730)
施設・設備等整備充実費	760,730
施設・設備維持管理費	(1,613,520)
施設・設備等維持管理費	1,613,520
維 持 運 営 費	(925,980)
通 信 費・光 熱 水 費	925,980
一 般 管 理 費	(722,550)
一 般 管 理 費	551,820
教職員福利厚生費	170,730
特別事業費(建設事業等)	(5,993,120)
翌年度基本金組入額繰延額	(0)
新設学部・研究科関連経費	(0)
法 人 経 費	(307,530)
予 備 費	(240,000)
事 業 費 小 計	[19,291,970]

基本金・準備金内訳	
事業項目	予 算
第2号基本金組入額	(2,000,000)
大学今出川校地整備資金	2,000,000
第3号基本金組入額	(0)
第4号基本金組入額	(164,500)
翌年度基本金組入額繰延額	(0)
前 期 末 未 払 金	(43,290)
特定支出準備金繰入額	(210,910)
基本金・準備金小計	[2,418,700]

財 務 費 内 訳	
事業項目	予 算
借入金等返済支出	206,080
借入金等利息支出	15,610
資 産 処 分 差 額	3,600
徴収不能引当金繰入額	77,810
繰 入 金	533,080
財 務 費 小 計	836,180



同志社総長賞表彰式

同志社総長賞は、学校法人同志社において、

スポーツ活動及び文化活動の国際大会、国際コンクール等で入賞を果たした優秀な学生、生徒、児童又は園児に

対して、総長が顕彰することを目的として2003年度から設けられた賞である。

2010年度は、大学長からの推薦で個人5名と1団体(4名)の受賞を決定し、3月26日に表彰式を神学館礼拝堂で執り行った。受賞者は、IRBアジアラグビーセブンズシリーズ2010上海トーナメント第3位の正海智大さん(法学部)、第8回世界学生アーチェリー選手権大会女子団体第3位の足立奈穂さん(商学部)、第16回アジア競技大会クリケット第3位の吉田侑加さん(理工学部)、第5回FINAシンクロワールドトロフィー大会で総合・シームティックチーム・コンビネーションのすべてで第5位、ハイライトルーティンで第6位の大西春菜さん(スポーツ健康科学部)、同大会で大西さんの成績に加えシームティックデュエットでも第4位を獲得した川合結万さん(スポーツ健康科学部)、そしてヒマラヤ・チャンラ



峰(6'563m)に世界初の登頂を果たした体育会山岳部、西北ネパール登山隊2010の小林博史さん(政策学部)、山口尚紀さん(商学部)、中務成哉さん(社会学部)、柴山雄太さん(法学部)であった。(法人事務室)

文化系公認団体祝賀会および表彰式

3月16日(水)、寒梅館ハーディーホールで、

2010年度文化系公認団体祝賀会および表彰式が開催された。

この祝賀会は、文化系公認団体で活躍してきた4

年次生の卒部を祝うもので、同時に年間を通じて目覚ましい活躍を見せた文化系クラブ・サークルへの表彰式も兼ねている。全国規模の大会等でトップレベルの活躍を見せた団体、

社会貢献性の高い活動を行った団体、学生



らしい創意工夫が見られた団体が対象となり、今回は以下の19団体が表彰された。

今回大賞となった法学研究会は、関西学生法律討論会での春秋2度にわたる好成績により出場した第60回全日本学生法律討論会・立論の部で見事優勝(1966年

第16回大会以来2度目)を飾ったことや、弁護士などの地道な活動が評価された。

法学研究会

■学生支援センター所長優秀賞

■学生支援センター所長優秀賞

■学生支援センター所長優秀賞

■学生支援センター所長優秀賞

■学生支援センター所長優秀賞

■学生支援センター所長優秀賞

■学生支援センター所長優秀賞

2010年度体育会表彰式

2010年度体育会表彰式が、3月5日に神学館礼拝堂にて行われた。この

表彰式は、世界・全国、西日本規模の大会等において

優秀な成績をおさめた体育会所属の部や個人の功績を称えて表彰するもので、大学と体育会本部が共催している。

式は八田英二学長の式辞、大谷實総長および濱直樹同志社スポーツユニオン会長から受賞者を讃える祝辞があり、続いて石川健次郎体育会長の挨拶の後、最優秀部賞(フェンシング部、準硬式野球部、日本拳法部、山岳部、トライアスロン部)と最優秀選手賞(アーチェリー部、土岐秀幸さん、同足立奈穂さん、ボードセイリング部、増瀬聖士さん、フェンシング部、山口博之さん、自転車競技部、畑段風士さん、空手道部、中村公輔さん、日本拳法部、赤井優生さん、同・近藤結里菜さん、ラグビー部、正海智大さん、水泳部、川合結万さん、スキー部、内山萌さん、テニス部、佐野光さん)の表彰に続き、優秀部賞12部、優秀選手賞20名、奨励賞(団体の部14部、個人の部79名)、新人賞14名、同志社スポーツユニオン功労賞がそれぞれ授与された。

続いて、体育会委員長による謝辞、前体育会委員長の答辞、真銅正宏学生支援センター所長から

来シーズンも一層の飛躍を期待する旨の挨拶が行われ、最後に出席者一同でカレッジソングを斉唱し、式が締めくくられた。

(スポーツ支援課)

2010年度 同志社ローム記念館 大賞発表会開催



3月23日、京田辺校地同志社ローム記念館劇場空間で、2010年度同志社ローム記念館大賞発表会を開催した。同志社ローム記念館大賞は、1年間のプロジェクト活動や成果を評価し、最も優れたプロジェクトを顕彰する制度で、今回の受賞プロジェクトは次のとおりとなった。

- 同志社ローム記念館大賞
『easy 京都観光』（公募プロジェクト）
- 同志社ローム記念館大賞優秀賞
『ROBO+』（公募プロジェクト）
- 『音楽療法の「宝物」：発信プロジェクト』（公募プロジェクト）

その他、外部審査員特別賞2件、メンバーの投票によるゴールデンエッグ賞、個人賞(MVP)も発表、表彰された。本

年度もコアプロジェクトの学生メンバーがイベントをプロデュース、盛会のうちに終了し、本年度の活動を締めくくった。2011年度は、誘致プロジェクト4チーム、公募プロジェクト3チームと、コアプロジェクト2チームの計9件のプロジェクトがそれぞれの目標達成を目指して活動をスタートしている。

(京田辺校地総務課)

同志社大学の募金事業

本学では、かねてからご父母、教職員はもとより広く社会全般に向けて募金のご協力をお願いしてきました。

昨年度は、今出川キャンパスの教育研究環境の再整備を目的とした「今出川キャンパス新校舎建設資金募金」、教育研究活動を展開する施設設備の整備を目的とした「教育研究施設等整備募金」、経済的困窮に苦しむ学生を支える特定寄付奨学金制度の資金に充てる「奨学金資金募金」、次代を拓く情報教育プロジェクトを支援する「同志社ローム記念館プロジェクト・サポート募金」事業を行いました。これに対してご父母、卒業生、法人、教職員など多岐面からご協力をいただき、集まった資金を活用して所期の事業を実施します。

これも皆さまの深いご理解の賜物と、厚く御礼申し上げます。2010年度の募金事業の実績について、次のとおりご報告します。

2010年度 募金事業実績報告書(2010年4月～2011年3月入金分)

募金事業		寄付件数および金額		使途	
今出川キャンパス 新校舎建設 資金募金	在学生父母	210件	15,392,800円	2010年度に実施した今出川キャンパスおよび鳥丸キャンパスの建設工事のための資金として活用。詳しくはホームページ(http://www.doshisha.ac.jp/grandesign/index.html)をご覧ください。	2010年度に実施した知真館改修工事および今出川各館防災システム更新工事を行うなど、施設整備資金として活用 ■建設事業の詳細は、学校法人同志社発行「事業報告書2010」(同志社大学2010年度の事業実績)に記載しています。
	卒業生・一般法人	215件	186,247,101円		
	教職員	30件	7,079,419円		
	計	455件	208,719,320円		
教育研究施設等 整備資金募金	在学生父母	152件	12,843,000円	2010年度に実施した特定寄付奨学金給付の資金として活用 給付件数34件、給付総額10,200千円 残額は2011年度の同奨学金資金として繰越	2010年度に実施した同志社ローム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産官・学地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用
	卒業生・一般法人	26件	3,926,509円		
	計	178件	16,769,509円		
	卒業生・一般法人	95件	5,001,920円		
奨学金資金募金	教職員	30件	3,128,000円	2010年度に実施した同志社ローム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産官・学地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用	2010年度に実施した同志社ローム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産官・学地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用
	計	125件	8,129,920円		
	在学生父母	1件	5,000円		
	卒業生・一般法人	4件	4,783,960円		
同志社ローム記念館 プロジェクト・ サポート募金	教職員	16件	96,000円	2010年度に実施した同志社ローム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産官・学地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用	2010年度に実施した同志社ローム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産官・学地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用
	計	21件	4,884,960円		

なお、奨学金資金募金では3月末までに、卒業生および教職員の方々から以下のとおりご協力をいただきました。

■2010年度協力者「芳名」

(2011年2月～3月申込分 順不同 敬称略)

- 【卒業生、ご父母、一般】
300,000円 株式会社バンネット・システム
30,000円 同志社45東京クラブ
10,000円 水谷 晴夫
眞下 昌久

ご芳名のみ

寺澤 正雄、高津 世紀、川村 修二、小合 洋一

※教育研究施設等整備資金募金、プロジェクト・サポート募金の「芳名」につきましては、別途芳名録を作成し「寄付いただいた方々にお送りしています。」

本学では個人の皆さまから広くご寄付を募ることを目的にインターネットでの募金を開始いたしました。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

URL <https://bokin.doshisha.ed.jp>

第39回 Neesima Room 企画展

「アメリカン・ボード設立2000年記念
まかれた種——神戸女学院と同志社——」

開港地：神戸と古都：京都にまかれた2つの種——神戸女学院と同志社は、アメリカン・ボード(アメリカ最古の海外伝道団体)



の強力な支援のもと、同じ1875年に前後して設立された学校です。しかし、それぞれの学校とボードとの関係は、当初から対照的なものでした。今回の展示は、学校法人神戸女学院の協力を得て、同学院キャンパス外では初公開となる資料と、同志社側の資料とを並べ、両校の設立から運営に尽力した宣教師の足跡と、それに対するそれぞれの受け入れ方の違いを展覧します。会期中には、1週間のみの特別資料展示も開催します。この機会に、ぜひご覧ください。

新任教員紹介

授業科目を担当する専任教員を紹介します。
①所属 ②職名 ③主な担当科目



山村りつ
(やまむらりつ)

- ①高等研究教育機構 および社会学部
- ②特別任用助教
- ③社会福祉学基礎演習



塩崎 悠輝
(しおざき ゆうき)

- ①高等研究教育機構 および社会学部
- ②特別任用助教
- ③未定



藤本 悠
(ふじもと ゆう)

- ①高等研究教育機構 および文化情報学部
- ②特別任用助教
- ③シヨイント・リサーチ I



小田切 康彦
(おたぎり やすひこ)

- ①高等研究教育機構 および政策学部
- ②特別任用助教
- ③パートナーシップ論

- 【期間】4月1日(金)～7月31日(日)
【時間】10時～17時(土・日曜日は16時まで)
【閉室日】祝日
【会場】Neesima Room(今出川キャンパスハリス理化学館2階)
【主催】同志社社史資料センター
【協賛】学校法人 神戸女学院
【公開講演会】
同志社と神戸女学院
—アメリカン・ボードとの関係をめぐって—
森孝一氏 学校法人神戸女学院理事長・院長
【日時】6月25日(土) 13時30分～15時
【会場】クラーク記念館2階クラーク・チャペル
【特別資料展示】
門外不出とされてきた神戸女学院の貴重資料2点を展示します。
【期間】6月25日(土)～7月1日(金)
【お問い合わせ先】同志社社史資料センター
TEL:075・251・3042
※全て入場無料、事前申し込み不要

本学教員の執筆図書を紹介

図書館調べ(価格は税別)

- 安心の社会保障改革** 橋本俊昭 著 東洋経済新報社 1,800円
歴史の枠を越えて 浅野亮 他執筆 千倉書房 5,500円
民事訴訟法第2版 上北武男 川島四郎 他執筆 悠々社 3,550円
会社法コンメンタール16 社債 森本滋 他編 商事法務 6,500円
新島襄教育宗教論集 伊藤彌彦 本井康博 他編 岩波書店 8,400円
グローバル・インバランスの経済分析 五百旗頭真吾 他執筆 有斐閣 4,400円
拡大生産者責任の環境経済学 郡崎孝 他執筆 昭和堂 4,800円
実用 材料の表面機能化設計テクノロジー 森康雄 他執筆 産業技術サービスセンター 42,000円
業績管理会計 中川優 他執筆 中央経済社 3,600円
法意識と紛争行動 木下麻奈子 他編著 東京大学出版会 5,600円
ヴィクトリア朝前半の社会と文化 玉井史絵 他執筆 深沢社 7,600円
民法I総則 石田剛 他執筆 有斐閣 2,600円
国際教育協力の社会学 内田康雄 他執筆 ミネルヴァ書房 2,600円
相談援助の基盤と専門職第2版 空閑浩人 他執筆 中央法規 2,600円
地域福祉の理論と方法第2版 上野谷加代子 永田祐 他執筆 中央法規 2,600円
国際関係法(私法系) 林貴美 他執筆 法学書院 2,400円
ワークショップ社会経済史 川越修 他著 ナカニシヤ出版 2,400円
個人のなかの社会 及川昌典 他著 誠信書房 4,400円
市政の形成 伊多波良雄 他編 京都市 6,450円
ここまでわかってきた 最新の生活習慣病健診と対策のすべて 米井嘉一 他執筆 ライフ・サイエンス・センター 5,800円
社会人のための大学院案内 山田礼子 著 P・H・P研究所 1,350円
- 経済は地球をまわる** 浜矩子 著 筑摩書房 1,200円
正典としてのクルアーン 中田考 著 ムスリム新聞社 6,000円
イスラーム私法・公法概説 中田考 著 日本サウジアラビア協会 非売品
現代アメリカ教育ハンドブック 山田礼子 他執筆 東信堂 2,800円
2011年日本経済 浜矩子 他著 東洋経済新報社 1,500円
日米中トライアングル 毛利重樹 他訳 岩波書店 4,700円
各国憲法の差異と接点 尾形健 他執筆 成文堂 15,000円
モダンにしてアンチモダン 圓月勝博 他執筆 研究社 4,000円
人権の射程 尾形健 他執筆 法律文化社 3,300円
風紋の日々 前田達明 著 成文堂 2,500円
組織変更・合併・会社分割 株式交換等(2) 森本滋 他編 商事法務 5,000円
検証「前期旧石器遺跡発掘掘進事件」 松藤和人 著 雄山閣 1,600円
拡大する社会格差に挑む教育 太田肇 浦坂純子 八木匡 山田礼子 他執筆 東信堂 2,400円
18歳からはじめる民法 野々村和喜 他著 法律文化社 2,200円
租税法の発展 田中治 他執筆 有斐閣 13,000円
感情心理学入門 余詔真夫 他執筆 有斐閣 1,900円
無縁社会の正体 橋本俊昭 著 P・H・P研究所 1,300円
会社法・商行為法手形法講義 森本滋 著 成文堂 2,800円
女性と労働 三山雅子 他執筆 大月書店 2,600円
越境するケア労働 峯岡一 他執筆 日本経済評論社 4,400円
犯罪タイポロジー 川崎友巳 著 成文堂 1,800円
生きる 岡野八代 山森亮 他著 岡野八代 他編 風行社 2,400円
民事訴訟法 岡田幸宏 他執筆 日本評論社 6,500円

福井 正興さんに聞く

インタビュー
山口 礼以さん
〔商学部4年次生〕



今回の同志社人

福井 正興さん 【1994年 商学部卒業】

1971年生まれ、京都府出身。大学卒業後、野菜・茶業試験場*で2年間、お茶づくりの基礎を学んだ。94年4月に株式会社福寿園入社。2001年3月、同社専務取締役営業本部長、05年4月、同社取締役副社長に就任。社団法人京都青年会議所に01年に入会、08年には理事長職に就く。日本青年会議所では09年、10年と副会頭を務め、11年会頭に選出された。

山口 ● 同じ商学部の大先輩ということで、まずなぜ商学部に進まれたのかということからお聞かせいただけたらと思います。

福井 ● 中学や高校の頃は、父が旅行好きでしたので、世界の色々な茶の産地などを一緒に見て回ったりしましたが、自分では家業が「お茶屋」だという実感があまりありませんでした。ただ、いつかは会社に入って父の後を継ぐことになるだろうと思っていましたから、商売の道に進むことを前提に商学部に入ることを、重要な選択肢として捉えていました。

山口 ● どのような大学時代を過ごされたのですか。

のでしょうか。

福井 ● 他の企業に就職をして、社会人として経験を積んでから戻ってくるという選択肢を考える一方で、お茶に関する知識がもつ必要なのではないかという気持ちもありました。お茶の勉強するのは今しかないと思いつき、静岡県の金谷にある、農林水産省の野菜茶業試験場で農業技術研修を受けることにしました。2年間、寮生活しながら研修生として過ごしました。

山口 ● そこではどういったことを勉強されたのですか。

福井 ● 最初の1年間は土づくりから始まり、茶の木を育て茶葉を製造し、販売するまでの工程を学びました。2年目は研究室に入って、半日は勉強、あと半日は研究という生活でした。そこで基本のお茶の育成方法や製造方法、伝統的な手揉みの技術などを身に付けて、修了後に当社へ入社しました。別の企業で5年ほど社会人修行をしましたが、戻ってきてもうかという話がありましたが、戻ってきたら父自身の手で教育しようという方針だったのでしょうが、私も今となっては大変感謝しています。1人の経営者を間近で観察できますし、お茶について学べるこれ以上の存在はないわけですからね。

山口 ● 仕事をやるうえで大切にされていることはありますか。

福井 ● 「伝統は革新の連続」という言葉がありますが、当社が220年続いているの



世界の茶に、より親しんでいただくことを目的に研究活動を行っている「福寿園CHA研究センター」



茶の成分分析や微生物検査等を行う化学実験室



3月26日、JCの対策本部長として東北の被災地3県を応援訪問



はまさに革新を続けてきたからだと思えます。自分自身、何事にも挑んでいく気持ちと進取の精神は大事にしているつもりです。

山口 ● その挑戦される中に、「伊右衛門」のペットボトルでの販売が含まれているのでしょうか。

福井 ● お茶は本来急須で飲んでいただくのですが、その売り上げが伸び悩む状況はどう打開していくかと悩んでいた頃、代々受け継いできた家訓「無声呼人^{むせいこじん}」について考えました。いいものを作れば、人々に必ず認めていただけるという意味ですが、今こそ私たちのお茶をもっと知っていただきたいと強く思いました。多くの方に飲んでいただき、お茶という伝統文化を伝えることが、当社の使命なのであれば、ペットボトル販売に挑む決断は必要でした。

山口 ● 発売後、社内外で変化した点はありますか。

福井 ● 京都に福寿園というお茶屋があるということ、広く世間に認知していただけたね。お茶はサービスで出てくるものという意識がまだ根強かった中で、お金を払ってお茶を飲むという行動のすそ野を

広げる効果はあったと思います。

山口 ● 副社長のもう1つの顔である、青年会議所(JC)の活動について教えていただけますか。

福井 ● 29歳の時に、同志社大学の先輩に誘われて京都青年会議所に入会しました。市や町の単位で全国に704の青年会議所があり、その1つが京都青年会議所です。ここでは、京都市の人づくりや街づくりを柱に様々な活動をしています。さらに、各地の会議所から出向したメンバーで構成されているのが日本青年会議所。私は入会した翌年に出向したのですが、全国で4万人の会員を抱える団体ですから、すぐに友人が増えました。たくさんさんの学びをいただき、京都の仲間や多くの先輩の応援をいただき会頭になることができました。

山口 ● 日本青年会議所の会頭にまでなられたモチベーション、ご自身の思いをお聞かせいただけますか。

福井 ● われわれが仕事をしていくうえで、「京都ブランド」は非常に重要な要素ですが、それを維持するには京都の町が元気で、活気にあふれていなくてはなりません。同

様に日本茶であれば、日本という国そのものが元気でないと困ります。地域を、京都を、そして日本を元気にするためにJCの活動を展開することが、最終的には会社の発展や、家族の幸せにつながるという思いです。京都の大学を卒業して、京都のことはほとんどわかっていて、愛しているつもりでした。しかし、青年会議所に入ると、私より遥かに京都に詳しく愛しておられる方々が、京都を思って活動しておられました。私にとって、それは大きな衝撃でした。そんな自分の故郷を愛する方々が全国にいられて、生まれた町で会社を興し、家族を養い、地域を元気にしようと奮闘されている姿をたくさん見てきて、当社でいえば山城町に本社を構えて仕事をし続けることの大切さを改めて感じました。そしてわれわれ自身が元気であり続けるためには、地域、京都、関西、日本、そして世界のことを考えなければならぬと今は思っています。

山口 ● JCに入られたのも同志社の先輩

がご縁で、私がこうしてお話をさせていた

だいているのも同志社というつながりがある

からですが、同志社人でよかったと思わ



INTERVIEWER

山口 礼以さん 商学部 4年次生

中学・高校と同志社女子で学ぶ。一般企業から講師を招くなど産業界に近く、「自分の夢が描きやすい」と思い「商学部」に進学した。金融関係への就職を希望し、4年次の残り1年間は就職活動しながらファイナンシャルプランナーの資格取得も視野に入れている。

同志社人同士、人と人のつながりの大切さを再認識

副社長というお立場の方とお話できる機会は貴重なもので、非常にいい経験になりました。就職活動では「企業の方」「学生」という立場でしか会話できませんが、同志社大学商学部で学んだ者同士という目線でお話しただけなのが、とてもうれしく新鮮に感じました。ずっと京都で暮らしていながら、それほど真剣に京都の街について考えたことがないかと改めて気づき、自分のいる地域、京都、日本、さらには世界にまで目を向けて考え、行動することの重要性がわかった気がします。私の祖父と父も同志社で、世代を超えて同じカレッジソングを歌えることを素晴らしいと思うとともに、同志社人同士のつながりの深さを再認識したインタビューでした。

できたのは、JICのメンバーに運送屋さんも、石油を扱う業者さんも倉庫を持つ人もいて、その力を結集できたからです。現役の会員だけで約4万人、卒業した方々を含めると20万人以上のネットワークをフル活用し、本当にたくさんの方々の力をお借りできました。実際、亡くなられたり行方不明の会員がなくなっている状況ですが、ボランティア活動の先には経済の復興が控えていますから、私たちに求められるのは、いかに先のことを考えて手を打つかです。特に今、必要なのは、国家の問題でもある風評被害による地域経済の衰退です。JICとしてこの緊急問題を、次代を担う青年の責務として解決していきます。偶然ですが、10年後を見据えて果敢に挑むことを、今年の活動の柱の1つに掲げていました。20年や30年後ではなく、目の前にある10年後です。この10年後のビジョンをどれだけ明確に描けるかが、今問われていることだと思います。復興までには長くかかるでしょうが、被災地の皆さんにも、できるだけ明るい10年後の絵を描いてほしいと思います。

山口●私も僅かな力しかありませんが、自分の住んでいる街のことを思い、自分ができることをしたいと思います。本日は貴重なお話をありがとうございました。

※ 現 独立行政法人 野菜茶業研究所

れることはありますか。

福井●同志社は人同士の関係が密接ですよ。ね。熱い志を持った人が多くいる大学だと思います。だから私を導いてくれる先輩がおられ、めぐり合いをたくさんいただけたのだと思いますね。

山口●私も同志社に入ってから思ったことが多くです。そこで先輩として、後輩の私たちにアドバイスをいただきたいのですが。

福井●1つは、自分が学ぶ大学のある京都を愛して卒業してほしいということです。地方から来ている人はやがてそこへ戻れるかもしれないが、4年間を過ごした京都の街を愛し、いつまでも思い続けてほしい。京都は私たちでもまだまだ知らないことを秘めていますし、それが魅力だと思います。ある人は「歩いているだけで探し物が見つかる街だ」と言いましたが、これはモノではなく心の探し物のことで、迷っている時に自分の気持ちを持ち直せる街だということです。もう1つはJICでも話しているこ

とですが、世界一を目指してほしいということですね。近隣のアジア諸国が力をつけてきている今は、地域どころか日本で一番でも生き残るのは難しい。ですが世界で一番であれば、日本でも、当然地域でも一番です。そんな一番であれば、あるいは世界に通用するグローバルリーダーたりえる人が1人でも多くいれば、街も日本も元気になります。ですから、これから大学を出て社会人になり、どんな分野に進まれるにしても、世界一を目指して頑張してほしいと思います。

山口●JICでは今回の東日本大震災に際して、対策本部長を務めておられるそうですが。

福井●過去の災害においても、JICは様々な支援活動をしてきていますが、今回は規模が大きく、会員やOBもたくさん被災しました。とにかくこの緊急事態にJICとして最大限可能なことをやらなければと、まずは全国から物資を集めて、地震発生の日後には現地に届けることができました。それが



自分の描いたフィールドで、 生の反応を 感じ取る面白さ。

入社して3年後、阪急百貨店(当時)が新たに「メンズ館」を開館することになり、バイヤーが社内公募された際に手を挙げました。バイヤーの業務は、店舗展開のプランニングから、それに基づいた商品の仕入れ、イベントなどの販促企画など実に多彩。そこからシーズンごとの結果を総括し、また次のシーズンにつなげるというサイクルで仕事をしています。現在の部署では、いわゆるインポートの高級品を扱っており、1階のルイ・ヴィトン、ティファニー、ブルガリ、2階のグッチやプラダ、3階のトムフォードなどが担当です。春夏物を1月と秋冬物を6月、年に2回ほどパリやミラノなどに買い付けに行きますが、繁忙期は売り場に立ち、商品が入った段ボールを担いで走り回ることも少なくありません。バイヤーというと華やかな仕事ばかりのように思われるかもしれませんが、実際は地味な仕事も非常に多いのです。

具体的に仕事を進めていく上で、1人ひとりの自由度は高いですね。次シーズンに向けフロアをどう展開していくか、上司と

の相談で大枠が決まれば、かなりの部分を自分の考えで実行できます。商品の仕入れにとどまらず、モデルを起用したファッションショーや、お得意様のみを対象にした閉店後のパーティーなど、一般の路面店ではできない、百貨店ならではの仕掛けを日々考えています。数字に表れない要素を拾い集めるため、数十人いる各ショップの店長に、毎日必ず話を聞くことも忘れません。そんな中で、自信を持ってリリースした商品や企画に問い合わせが殺到したり、お客様が列を作ってくれたりすると、この仕事をやっていて本当に良かったと実感します。自分が思い描いたフィールドの中で戦略を立て、成果であるお客様のリアクションを生で見ることもできる。とても面白く、やりがいのある仕事です。

これからの私に求められるのは、経営者の視点を持って仕事に取り組むことだと思います。私は紳士服部門を志望して入社し、これまでその分野のみでキャリアを積んできました。しかし百貨店の主力である婦人服を含め、あらゆる部門に精通し、様々な

お客様の声から百貨店に何が求められているのかを感じ取っていくなくてはなりません。ただ単にモノを売るだけでなく、阪急阪神百貨店として、お客様の支持を得る独自性をいかに強めていくかが、厳しい競争の中では重要なことだと考えています。

後輩の学生たちには、何事にもまずトライしてみることを勧めます。色々なものを見聞きして、少しでも興味がわけば深く追求し、望むものと違えば別のものを探せばいいのです。学生は本当に自由で、ある程度のことは許されますし、私自身、学生時代に経験したことが生きていると今になつて気づきます。多くのことに挑戦して得た経験は、社会に出ても決して無駄にはなりませんよ。

星加 精二郎さん【2004年 経済学部卒業】

株式会社阪急阪神百貨店 ラグジュアリー商品部 ラグジュアリー紳士服商品部 バイヤー

大学時代はTシャツ研究会に所属し、自分でデザインしたTシャツの露店販売や展示会の開催、時には音楽とコラボレートしてクラブでイベントを開いたことも。百貨店の店頭では、4年間アルバイトしたコーヒースhopで、自己流の接客を求められた経験が生きていると言う。阪急阪神百貨店に入社して最も思い出深いと語るのが、「メンズ館」を立ち上げた時のこと。自分が担当した売り場のオープン時、前夜から並んだ人を含めて約1,000人以上の来店客が列を作ったが、先頭で開店を待っていたのは、何と愛知県からのお客様。「ずっと楽しみにこの日を待ちました」そう聞いて、すべての苦勞や疲れが吹き飛んだそうだ。休日の過ごし方を問われると、「やはり服を見に出かけることが多いです。自分にとってはそれが癒しなので」と屈託なく笑った。

お客さまやスタッフの喜びの笑顔が、 自分自身のやりがい。

大学時代、予備校でチューターのアルバイトをしていて、受験生の相談にのっていました。「ありがとう」と言ってもらえることが本当にうれしかったので、就職に關しても、人と密に接して色々なお手伝いをしたい、それが人生に關わる仕事ならやりがいがあるのではと考えていました。ちょうど三井住友銀行では私が就職活動をしている時に、個人のお客さまの資産に関するご相談に解決策を提案していくコンシューマーサービス(CS)職という職種が、他行に先駆けてスタート。これこそ私の希望する仕事だと思ったのが入行の理由です。銀行員になって9年、その大半を個人のお客さまに対応する部署で過ごし、人の役に立てること、「ありがとう」と言ってもらえることの喜びが、やはり自分の原点であり、やりがいなのだと思います。

資産に関するご相談といっても、当行とお取り引きいただいているお金のみが対象ではありませんし、お預かりしている全額を運用するご提案をするとは限らないのです。それがお客さまにとって運用するのにふさわしい金額かどうか、ご家族のこと、趣味のこと、退職後のライフプランなどについてじっくりとお話ししながら、将来に備えるためのお金、今の楽しみに使うお金などの配分をご相談して、適切な運用方法をご提案します。時には私生活の部分にまで踏み込んでお客さまとお話をし、文字通りお一人おひとりの生活設計と一緒に考えていきます。昨年からは課長となり、30人ほどのスタッフを束ねる立場になりましたが、私自身もスタッフも「何よりもお客さまのために」という姿勢は共有できていると感じていたので、特に上司・部下という関係を意識していませんでした。ただ以前は自分1人の範囲でお客さまに喜んでいただければ十分でしたが、今はスタッフのみんなが喜ぶ顔を見るのがうれしいと思うようになりました。もちろん、お客さまの笑顔なしにそれはありませんし、スタッフが成長して成果を出し、先輩の指導で先輩が育っていく、そういう姿を見ることがこそが管理職の醍醐味だと思います。だからこそ、自分が考えていることを「伝えた」ではなく、「伝わった」でなくてはならないと常に自分に言い聞かせています。自分本位ではなく、相手が理解して初めて「伝わった」のですから、コミュニケーションは本当に重要です。

学生時代を振り返って後悔しているの

は、試験のための勉強しなせず、知識が今の自分の中にあまり残っていないことです。大学の4年間は本来、もっと深い勉強、暗記ではなく本質を学ぶための時間だったと、今にして思います。社会に出てから上手に「運用」できる「資産」を4年間で得られるよう、先輩の学生たちには充実した時間を過ごしてほしいですね。

迫水 祐子さん【2002年 商学部卒業】

三井住友銀行 西神中央支店 お客さま相談一課 課長

神戸にある自宅から、往復4時間かけて大学に通った。サークル活動をするゆとりはなく、授業と予備校のアルバイトで過ぎていった4年間だったが、「それなりに充実した時間でしたよ」と笑う。入行10年目を前にして課長に昇進し、将来の目標は支店長。「自分がつくるとしたら、みんなが笑顔で仕事ができる支店。地域の方々に『あのお店、温かいね』と言っていただけるような支店が理想ですね」。行内の女性管理職は増加しており、実際に支店長職に就いている人も。産休明けの復帰プログラムをはじめ、結婚・出産を経た女性のバックアップは充実している。「それらを経験したほうがお客様の気持ちにもっと寄り添えますし、せっかくの制度も利用したいのですが(笑)」今のところ、予定はまだないそうだ。



WOT(ワット) = "What's on Thursdays!"

「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員はすべて無料

<cinema>

- 6月2日(木) 《EUフィルムデーズ》『アンナと過ごした4日間』
*詳細未定
- 6月9日(木) 《EUフィルムデーズ》『プリンセス マヤ』ほか上映
*詳細未定
- 6月10日(金) 《EUフィルムデーズ》『ツイステッド・ルーツ』ほか上映
*詳細未定
- 6月16日(木) 《EUフィルムデーズ関連企画》『パリエラ』ほか上映
*詳細未定
- 6月23日(木) 新作映画試写会 *詳細未定
- 6月30日(木) 映画上映 *詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL: 075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。
※春学期は7月初旬までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールでは、映画史に残る名作を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階) 【料金】入場無料

- 6月7日(火) 《EUフィルムデーズ関連企画》映画上映&講演
講師: 赤坂太輔氏 *詳細未定
- 6月14日(火) 《EUフィルムデーズ関連企画》
ストローク=ユイレ作品上映 *詳細未定
- 6月21日(火) 映画上映 *詳細未定
- 6月28日(火) 映画上映 *詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL: 075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。
※春学期は7月初旬までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。

♪観に行こう聴きに行こう♪ —学生団体6月~9月の活動予定—

【京田辺校地ハローホール】(時間は予定)

- 6月2日(木) ピアノ研究会「定期演奏会」 時間未定
- 6月7日(火) プロレス同盟「プロレス興行」 12:30 ~
- 6月11日(土) F.S.S.「オープンホールコンサート」 12:00 ~
- 6月18日(土) One Voices「新入生ライブ」 時間未定
- 6月22日(水)、23日(木) 陶芸サークル「土夢」「作品展」 11:00 ~
- 6月25日(土) とんがりぼうし「2回コン」 10:00 ~
- 6月29日(水) 喜劇研究会「お笑いライブ」 13:00 ~
- 6月30日(木)、7月1日(金) F.B.I.「6月上映会」 12:30 ~
- 7月9日(土) I.P.C.「7月ライブ」 13:00 ~
- 7月16日(土) F・A・C「新入生ライブ」 11:30 ~
- 9月17日(土) F・A・C「定期演奏会」 時間未定
- 9月30日(金) 軽音楽部「CDコンサート」 15:00 ~

【今出川校地寒梅館クローバーホール】

- 6月24日(金) F.B.I.「6月上映会」 12:30 ~ (12:00)

【学外】

- 6月18日(土) 交響楽団「第50回同立交歓演奏会」 18:00 ~ (17:00)
1000円 京都コンサートホール大ホール
(京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番出口 南へ徒歩3分)
- 6月25日(土) 混声合唱団こまぐさ「サマーコンサート」 14:00 ~ (13:30)
1000円 文化パルク城陽プラムホール
(近鉄寺田駅下車東口より南へ線路沿いに直進450メートル徒歩 約10分)

●6月28日(火)~7月3日(日)

クラマ画会「前期展」 10:00 ~ 18:00 (最終日は17:00まで)

無料 ギャラリーカト(京都市中京区寺町御池下る)

●8月17日(水)~8月22日(月) クラマ画会「同立展」 11:00 ~ 19:00

無料 ギャラリー北野(東西線「京都市役所前駅」下車、河原町通りを南へ徒歩2分)

●9月5日(月)~9月9日(金)

機械研究会「全日本学生フォーミュラ大会」 7:00 ~ 18:00

無料 小笠山総合運動公園エコパ

●9月11日(日) マンドリンクラブ「福岡地方演奏会」 午後予定

前売600円、当日800円 ももちパレス大ホール

(地下鉄藤崎駅より徒歩1分 2番出口)

●9月13日(火)~9月15日(木)

クラマ画会「7大学合同展」 9:00 ~ 17:00 (最終日は16:00まで)

無料 京都市勧業館(東西線「東山駅」より徒歩約8分)

応援に行こう!~体育会試合日程

開催日時、会場、対戦校、料金などは変更になる場合があります。

【サッカー部】

●6月12日(日) 14:00 ~ 関西学生サッカーリーグ第9節

対戦校: 立命館大学 会場: 長居スタジアム

●6月18日(土) 11:30 ~ 関西学生サッカーリーグ第10節

対戦校: 関西大学 会場: 高槻市立総合スポーツセンター

●6月26日(日) 14:00 ~ 関西学生サッカーリーグ第11節

対戦校: 近畿大学 会場: J-GREEN堺(メインフィールド)

【水泳部】

●7月29日(金)~31日(日) 関西学生選手権

会場: 大阪プール 入場無料

●9月2日(金)~ 4日(日) 日本学生選手権

会場: 横浜国際プール 要入場料

【ラグビー部】

●6月4日(土) 時間未定 定期戦

対戦校: 立教大学 会場: 立教大学グラウンド

●6月5日(日) 時間未定 定期戦

対戦校: 慶應義塾大学 会場: 伊那市陸上競技場

Hardience(ハーディー友の会)メンバー募集中!

今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくために、私たちとともに催しを盛り上げていただける方を募集しております。お申し込みは、今出川校地学生支援課窓口にて随時受付中です。

【対象】一般・他学生(本学学生・教職員は対象外)

【会費無料】

【特典】寒梅館イベント情報の郵送(希望者のみ)、案内メール配信、映画招待券やコンサート入場券のプレゼント(抽選)・入場料割引、学生団体による公演・お芝居等へのご招待、寒梅館レストランでの割引 etc.

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL: 075-251-3270

「寒梅館夏まつり~お兄さんお姉さんと遊ぼう~」学生ボランティアスタッフ募集

寒梅館ホールや会議室、アトリウムを使って夏まつりを開催します。2006年にスタートした寒梅館夏まつりは、地域のイベントとして定着し、今年も子どもたちが楽しみにしています。クラブ・サークルの皆さんが日頃培っているスキルを生かして、地域の小学生向けのイベントを企画してみませんか? 茶道体験、アナウンサー体験、模型展示などこの夏、ボランティアスタッフとなって子どもたちと一緒に遊んでくれる団体を大募集します。

【開催日時】8月27日(土) 13:00 ~ 16:00

【スタッフ募集対象】同志社大学学部生

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL: 075-251-3270

Doshisha Spirit Week 2011 SPRING

同志社大学には、建学以来脈々と受け継がれてきたキリスト教主義教育、新島襄の建学の教育理念、そしてその実践といった建学の精神と伝統があります。Doshisha Spirit Weekは、キリスト教主義教育や創立者新島襄について触れ、同志社人としてのアイデンティティを高めることを目的として、2003年から始まりました。期間中は、講演や展示などさまざまな企画を行います。

【期間】 5月30日(月)～6月4日(土)

<京田辺校地>

●展示 「いま、『偶儻不羈(てきとうふき)なる書生』を考える」
(同志社大学ラーネッド記念図書館主催／同志社大学キリスト教文化センター、同志社社史資料センター協力)

7月31日(日)まで 図書館開館時間中
ラーネッド記念図書館2階展示コーナー

●演舞 ーカレッジソング指導ー
5月30日(月)12:30～ 応援団 多目的ホール前広場
(天候によってはローム記念劇場空間)

●京田辺水曜チャペル・アワー
6月1日(水)10:45～ 「一人一人大切ナリ」
心理学部長 鈴木直人
知真館1号館111番教室

●講演
6月1日(水)13:15～ 「同志社で学んだ人たち」
キリスト教文化センター所長、神学部教授 原誠
知真館2号館101番教室
6月3日(金)13:15～ 「新島襄の弁解」
同志社大学名誉教授 北垣宗治
知真館2号館201番教室

<今出川校地>

●展示 「まかれた種 ー神戸女学院と同志社ー」
(同志社社史資料センター主催)
7月31日(日)まで 10:00～17:00 (土・日は16:00まで)
Neesima Room (ハリス理化学館2階)

●今出川火曜チャペル・アワー
5月31日(火)17:30～ 「同志社大学に学んで」
同志社大学名誉教授 井上勝也
クラーク・チャペル(クラーク記念館2階)

●今出川水曜チャペル・アワー
6月1日(水)10:45～ 「与えなさい。そうすれば…」
神学部教授 石川立
クラーク・チャペル(クラーク記念館2階)

●講演
5月31日(火)9:00～ 「新島襄とセイヴォーリ船長」
神学部教授 本井康博
明徳館21番教室

5月31日(火)15:00～ 「アメリカの新島襄」
法学部教授 伊藤彌彦
尋真館40番教室

●キャンパスめぐり隊
6月2日(木)13:15～ 「新島旧邸をめぐる」
案内人:神学部教授 本井康博
良心碑前集合

【お問い合わせ先】キリスト教文化センター
京田辺校地 TEL:0774-65-7370
今出川校地 TEL:075-251-3320

2011年度「同志社大学キャンパスフェスタ」開催

昨年に引き続き、下記の日程で「同志社大学キャンパスフェスタ」を開催し、校友の皆さま、在学生のご父母、受験生などとの交流を行います。内容

は、八田学長による大学紹介、講演会、キャリア支援や入試に関する説明など盛りだくさんです。皆さまのご参加をお待ちしています。

開催地	開催日	会場
仙 台	10月1日(土)	KKR HOTEL SENDAI JR「仙台」駅 徒歩15分、 市営地下鉄「勾当台公園」駅 徒歩7分
福 井	10月8日(土)	福井パレスホテル JR「福井」駅 徒歩12分
東 京	10月10日(月・祝)	六本木アカデミーヒルズ49 地下鉄日比谷線「六本木」駅 徒歩3分
鹿 児 島	10月23日(日)	みなみホール 「鹿児島中央」駅から市営バス16-2番線 鴨池港行き で「与次郎1丁目」下車、徒歩2分 (交流交歓会会場:鹿児島サンロイヤルホテル)
静 岡	10月29日(土)	ツインメッセ静岡 新静岡センター5番線または JR「静岡」駅北口 13番線(エクセルワードビル前) から登呂コープタウン行きまたは南警察署経由小 鹿営業所行き15分。「南郵便局ツインメッセ前」下車
山 形	11月19日(土)	山形グランドホテル JR「山形」駅 徒歩15分
広 島	11月26日(土)	広島グランドインテリジェントホテル JR「広島」駅 徒歩7分
京 都	11月6日(日)	※ホームカミングデー2011として開催 同志社大学今出川キャンパス

詳細はHP (http://www.doshisha.ac.jp/alumni/info/c_festa.html)
【お問い合わせ先】企画部広報室 校友・父母課 TEL:075-251-3009

同志社フェア in 函館

全国の同志社生との絆をよりいっそう深めるため、「同志社フェアin函館」を開催します。同志社大学の原点とも言える「新島襄の脱国の地」に大学関係者、卒業生、在学生父母など同志社に連なる人々が一堂に会し、新島先生の想いを改めて心に刻む機会とします。

日 時・プログラム	会 場・内 容
6月12日(日) 13:30～17:10 全国同志社卒業生との集い 17:30～19:00 交流交歓会(会費3,000円)	ロワジュールホテル函館(JR「函館」駅 徒歩1分) 内容:八田学長による大学近況報告、ラグビー元 日本代表の大八木淳史氏による講演、神学部本 井康博教授による講演、函館水産高校の生徒に よる寸劇・交流交歓会 等 ※ユーストリームにて生中継をします。 (http://www.doshisha.ac.jp/alumni/)
6月13日(月) 10:15～17:00頃 “同志社フェア特別企画” 新島足跡ツアー ーゆかりの地を訪ねてー	行程:JR「函館」駅＝新島襄ブロンズ像…新島襄 海外渡航碑＝ハリストス正教会＝五島軒…山ノ 上大神宮＝五稜郭＝函館千歳教会＝遺愛学園＝ JR「函館」駅 (バス＝徒歩…) 参加費:8,000円(昼食付)
6月14日(火) 11:00～11:40 「新島襄海外渡航の地碑」 碑前祭	「新島襄海外渡航の地碑」前(函館市大町11) (函館市電 「末広町」駅徒歩7分)

詳細はHP (<http://www.doshisha.ac.jp/alumni/>)
【お申し込み・お問い合わせ先】
企画部広報室 校友・父母課 TEL:075-251-3009



bふらっとプログラム

【京田辺校地ハローホール】入場無料

●6月15日(水) 映画上映「ソーシャルネットワーク」
12:30～／15:00～／17:30～

●7月6日(水) 17:15～
アコースティックギターコンサート「わたなべゆう」

●7月20日(水) 17:15～
ドラム&パーカッションリズムバトル「からくりリズム」

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7413

第31回全日本学生将棋女流名人戦で初優勝 〜妹と一緒に歩いてきた将棋の道〜

将棋を始めたのは小学校3年生の時。母の友人から近所の将棋教室に誘われ、1年生の妹と一緒に始めました。将棋だけでなく礼儀やマナーにも厳しい教室で、母はそちらの効果を期待していたようです。最初の頃はまったく面白くなく、しかも教室で女の子は私たち2人だけ。妹といっ辞めようかとよく話していました。ところが、将棋を始めて1年目にもかかわらず、大阪府の小学生大会の3人1組の団体戦に妹を含むチームで出場し、準優勝してしまったのです。勝つ楽しさをそこで初めて覚え、将棋に打ち込むようになりました。中学を卒業するまでは、週に3回放課後に教室に通って練習を重ね、家では本を読むなどして勉強。休日には関西将棋連盟の道場へ指しに行き腕を磨きました。

中学では1年生と3年生で全国優勝。高校へ進んでからは、年3回行われる全国大会に合計8回出場したうち、決勝で負けた2年生の冬とベスト8に終わった3年生の夏以外はすべて優勝しました。同年代の棋士たちは身近なライバルですから、その中で1度優勝すると、次も絶対負けたくない、1番であり続けたいと思うようになりました。元々が負けず嫌いなので、意地もありましたね。遊んでいる友達を見て羨ましく思つこともありました。が、他の人にはできない経験ができるのはありがたいですし、やはり勝ちたい気持ちが上回りました。両親はルールも知らないくらい

ですが、色々な面でサポートしてくれています。将棋そのものに関しては口出しせず、私たちがしんどくならないように気遣ってくれていますね。

妹は高校1年生でプロの道へ入りました。私も小さい頃はプロになりたいと思っていましたが、高校生あたりから将棋の世界の厳しさもわかり始め、自分がプロ向きの性格ではないと自覚していました。全国大会など大きな対局の前には眠れず、ご飯ものどを通らないほど気持ちが悪くなります。負けることが強烈なストレスになり、勝ち負けの世界の怖さを知ったこともあります。そういう意味では、妹のほうがプロに向いていると思います。将棋は個人の性格が戦い方のスタイルに出てくるのですが、私と妹はやはり正反對で、私はじっくり待つて最後に攻勢に出る。受け将棋。妹は開始から激しく攻める。攻め将棋。徳川家康と織田信長だとたとえられることもあります。将棋ではライバルでしたが、立場もプロとアマに分かれて対戦することもなくなりましたし、何より普段は親友のような関係です。男性ばかりの中にも妹がいると心強いですし、彼女なしでは将棋をここまで続けてこれなかったと思います。



室谷 早紀さん
【商学部3年次生】

室谷 由紀さん
【文学部文化史学科1年次生】

て活躍し続けたいと思っています。